

ご挨拶

(一社) 兵庫県テニス協会 普及・育成本部長 藤森 茂樹

昨年、協会設立 70 周年の節目を終え、新たな歩みの年を迎えました。平成最後になりましたが、14 回目の兵庫・沖縄ジュニアテニス交流事業も無事終わることが出来ました。昨年は従来の取組みに加えて、低年齢対象のレッドボール大会 (3 回)、グリーンボール大会 (2 回) の新たな企画で少しは活性化できたかと思えます。関西グリーンボール大会も参加 3 年目にして初の団体優勝を果たしました。

少子化の影響はテニス界も例外ではありません。2020 年度から小学校 3～6 年生の体育の授業にテニスが入り入れられる制度的な体制が出来ることとなります。また、テニスの中体連準加盟が認められましたが、すぐに中学校に硬式テニス部が出来るとは考えにくい状態です。硬式テニス部を希望する生徒、保護者の熱意と先生方の理解が必要です。既存のクラブとの共存、共栄が図られることを願います。

錦織、大坂の両選手の活躍が続く今こそ足元を固め、地道な普及活動を進めなければなりません。

幸い兵庫県テニス協会は様々な方面からご支援をいただき、他に先駆けての環境整備が進んでいます。ご支援をいただいている皆様に感謝し、協会関係者一同、次の 10 年、20 年に向けて新たなスタートを切りたいと思います。

今後ともよろしくお願い致します。

ジュニアの皆さんへ

ジュニア委員長 横田 泰和

近年、兵庫県のジュニア選手は、全日本ジュニアをはじめ全国大会で目覚ましい活躍を続けています。さらに、国際大会に目を移しても、グランドスラムのジュニア大会である全豪、全仏、ウィンブルドン、全米の予選を勝ち上がり、本戦に出場を果たす選手が続いています。このように、日本国内だけではなく、世界で活躍する選手が多数でてきていることはうれしい限りです。本人の努力は言うまでもなく、選手を指導するコーチの方々の熱心なご指導に敬服いたします。

また、ジュニア委員会の事業としては「兵庫・沖縄友愛事業」があります。テニスを通じて沖縄県のジュニア選手と交流する事業です。さらに、新規事業として「静岡招待ジュニアテニス」への参加があります。いずれも、ジュニア選手にいろいろな経験の場を提供し、それを生かして自ら成長してくれたらと考えています。

このように、ジュニア委員会は、テニスを通じてジュニア選手の育成を行います。ただ強いというだけではなく、テニスプレイヤーとしての品格を持った選手、「テニス王国兵庫」のプライドを持った選手を育成していきたいと考えます。本年度もよろしく願います。